

ちくぎんは
地域との共存共栄を
めざしています

ミニディスクロージャー誌

第 **81** 期
営業のご報告

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



あなたのまちの
筑邦銀行

ごあいさつ

皆様方には平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

さて平成17年度は、当行が平成15年4月よりスタートさせた3年間の「21世紀第2次中期経営計画」の最終年度で、本計画達成に向けて総仕上げの年となります。

私どもは、この間「選択」と「集中」という考えのもと、ステークホルダー（お客様、地域社会、株主、従業員等利害関係人）の期待に応えられる「新時代に相応しい銀行」を目指し各経営課題に取り組んで参りました。

また、こうした中期経営計画の主要な経営課題の克服に向けた取り組みは、平成17年3月（集中改善期間 平成15年4月～17年3月）で終了した地域金融機関としてあるべき姿を追求した「リレーションシップバンキングの機能強化計画」の実現にもつながるものであったことなどから、同機能強化計画も全体としてほぼ当初の計画どおり進捗いたしました。

一方こうしたなか、金融庁より平成17年3月「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」が公表され、引き続き地域密着型金融の継続的な推進をはじめ、地域の特性や利用者ニーズ等を踏まえた「選択」と「集中」によるビジネスモデルの構築等が求められております。

これらの状況を踏まえ、当行では、役職員一同、中小企業金融の円滑化、利用者の皆様方の利便性向上等を計画的に推進し、地域経済の発展に貢献できるよう全力を尽くして参る所存です。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。



平成17年6月

代表取締役頭取

井手 和英

■ 目次

頁	頁
1 ごあいさつ／プロフィール	7 トピックス
2 経営方針	9 地域貢献情報
3 当行の健全性	11 地域経済の活性化／社会貢献活動
自己資本比率、格付け	13 利便性
有価証券評価損益	14 その他（金融犯罪等）
業務純益、経常利益	15 店舗ネットワーク
当期純利益	17 店舗外現金自動設備設置場所
業務粗利益経費率（OHR）	19 財務のご報告
預金、貸出金	22 役員／株式の状況
有価証券残高、不良債権	

■ 筑邦銀行プロフィール

設立	昭和27年12月23日
総資産	5,470億円
預金・譲渡性預金	5,008億円
貸出金	3,914億円
資本金	80億円
株主数	3,490名
従業員数	589名
店舗数	42か店

（平成17年3月31日現在）

選択と集中

～新時代に相応しい銀行を目指して～

21世紀第2次中期経営計画

(平成15年4月～平成18年3月)

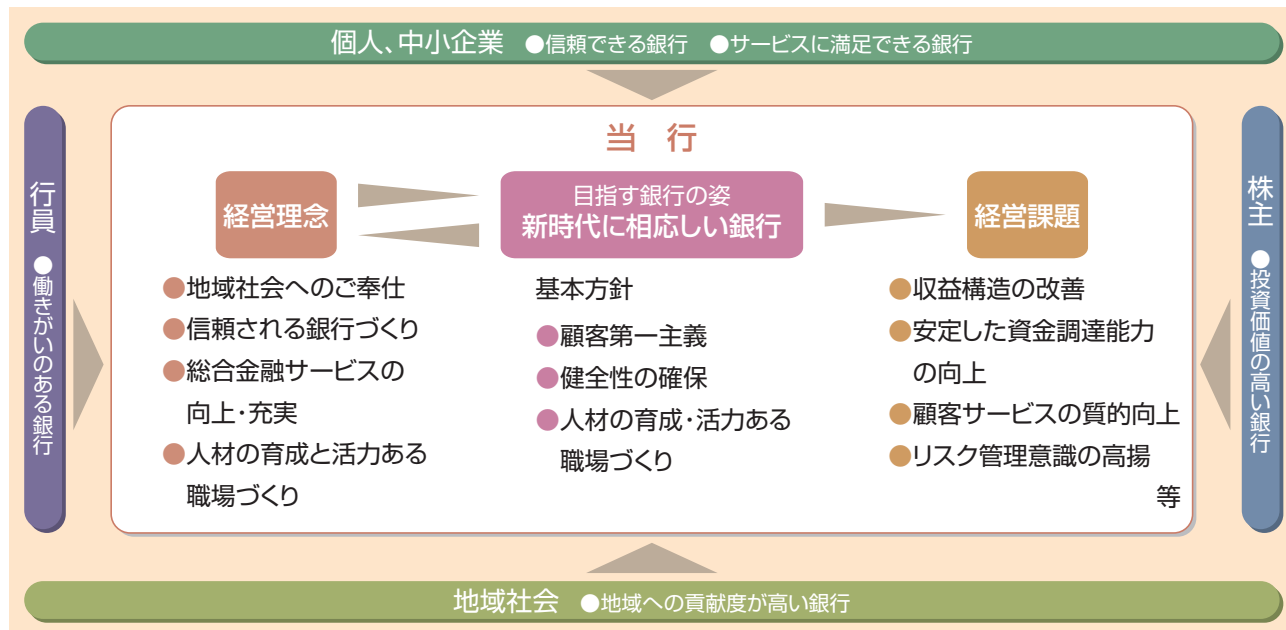
当行は、平成17年度（平成18年3月期）を最終年度とする3カ年の「21世紀第2次中期経営計画」を平成15年4月よりスタートさせております。

本計画は「顧客第一主義の徹底」「健全性の確保」「人材の育成・活力ある職場づくり」の3つの基本方針のもと、主要な経営課題をこの3年間で克服し、ステークホルダーの期待に応えられる「新時代に相応しい銀行」を目指しております。

最終年度である本年度は、当行が目指す銀行の姿を実現すべく各経営課題を更に推進して参ります。

当行が目指す銀行の姿・中期経営計画の全体像

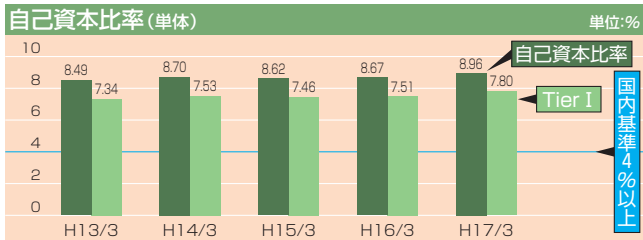
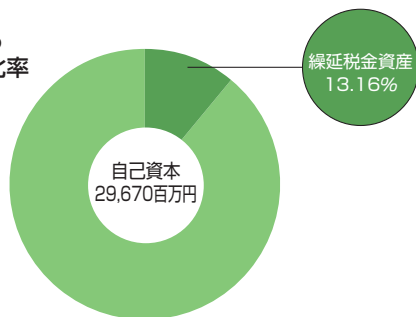
ステークホルダー（利害関係人）の期待



自己資本比率（国内基準4%以上）

平成17年3月末の自己資本比率は、国内基準を上回る8.96%となり、健全性を見る上で特に重要だと言われているTier I比率（中核的自己資本比率）も7.80%と高い水準にあります。またTier Iに計上している繰延税金資産の比率は、自己資本比率算定上の自己資本の13.16%と低く、問題はありません。

自己資本に占める
繰延税金資産の比率



●自己資本比率の用語解説

- 1.自己資本比率とは** 銀行の貸出等総資産に対する自己資本額の割合です。この比率が高いほど不良債権等に対する備えが充実していることを示すため、銀行の健全性を表す重要指標の一つになっています。なお、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は、国内基準（4%）を維持することが義務づけられています。
- 2.Tier I比率とは** 資本金や任意積立金などの基本的項目（Tier I）のみから算出される自己資本比率です。
- 3.繰延税金資産とは** 会計上は今期に払わなくてよい税金についての「前払い」額を、資産として計上したものです。会計上の費用（または収益）と税法上の損金（または益金）の認識時期の違いによる「一時差異等」を税効果会計によって調整することで生じます。

格付け

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA-格付を取得しており、安全性について高い評価を受けております。（平成16年11月11日現在）

●格付けの用語解説

格付けとは 一般的に企業が発行する債券や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を示す指標で、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。
※AからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとしてプラス（+）もしくはマイナス（-）の符号による区分があり、一般的にBBB（-）以上が「投資適格等級」といわれています。

日本格付研究所（JCR）

A-

AAA
AA
A
BBB
BB
B
CCC
CC
C
D

有価証券評価損益

有価証券の評価損益は、市況の好転等により前期比で株式が11億34百万円増加し、債券も3億35百万円、その他で72百万円、合計で15億41百万円増加しました。この結果、評価益と評価損を通算した評価益は53億円となっております。

有価証券(その他有価証券で時価のあるもの)の評価損益(単体) 単位:百万円

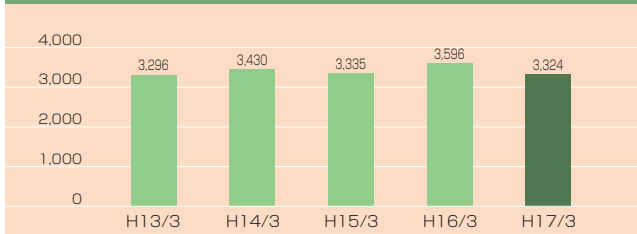
	評価損益	評価益	評価損
株式	4,225	4,415	190
債券	940	941	0
その他	135	143	7
合計	5,300	5,500	199

業務純益

業務純益は、資金運用利回りの低下による資金利益の減少等により、前期比2億72百万円減少して33億24百万円となりました。

業務純益(単体)

単位:百万円

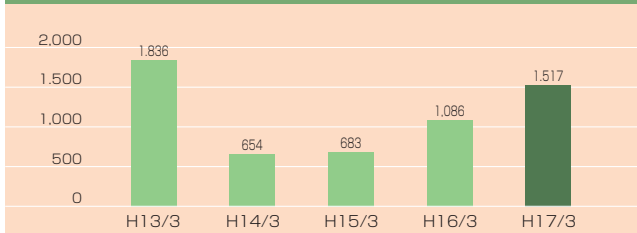


経常利益

株式の償却負担や不良債権処理費用が減少したため経常利益は前期比4億31百万円増加して15億17百万円となりました。

経常利益(単体)

単位:百万円

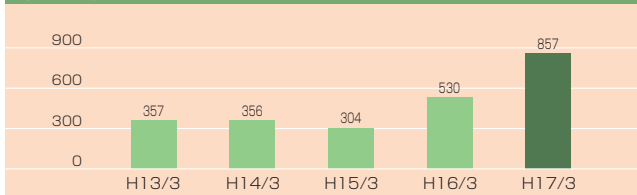


当期純利益

当期純利益は、経常利益の増加により前期比3億27百万円増加して8億57百万円となりました。

当期純利益(単体)

単位:百万円

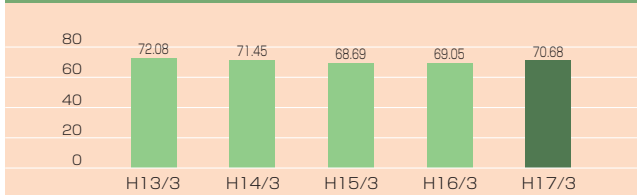


業務粗利益経費率(OHR)

経営効率化の重要な指標としての業務粗利益経費率(一定の粗利益を稼ぐのにどれだけの経費をかけているかを示す指標)は、人件費、物件費等の節減に努力して参りましたが、平成17年3月期は70.68%となりました。

業務粗利益経費率(OHR)

単位:%

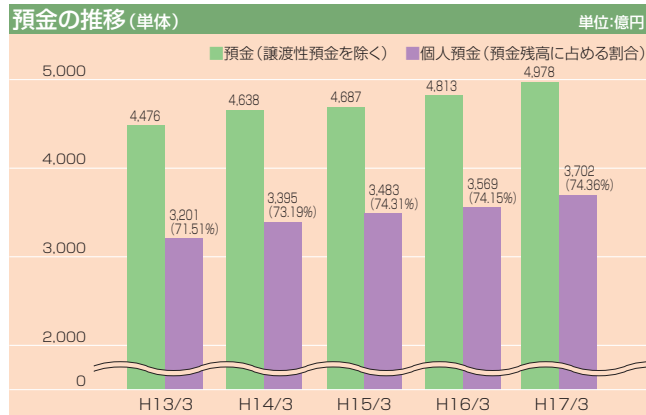


●収益の用語解説

- 1.業務純益とは** 銀行の利益を見る上での重要な指標で、預金・貸出金等銀行本来の業務から生まれた利益。一般企業の「営業利益」に相当します。
- 2.経常利益とは** 業務純益に貸出金償却等の臨時損益を加減算したものです。
- 3.当期純利益とは** 経常利益に特別損益と税金を加減算したもので、銀行が決算期間中に得た最終利益です。

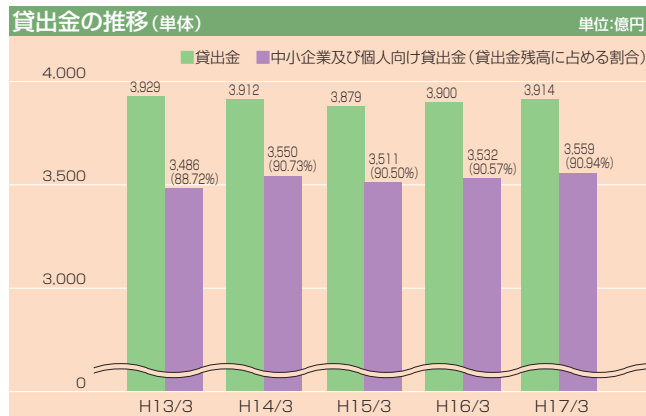
預金

預金は、資金調達のコアとなる個人預金を中心に順調に増加し、前期末比164億円増加して4,978億円となりました。



貸出金

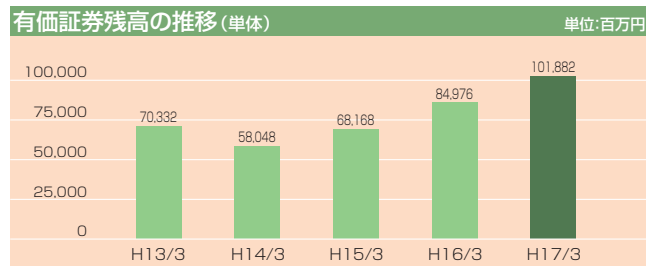
貸出金は、地域の資金需要の低迷が続いておりますが、地元中小企業を中心とした新規取引の拡大や個人のお客様の住宅ローンを始めとした資金ニーズにお応えするため、積極的な営業活動に努めました結果、前期末比13億円増加して3,914億円となりました。当行は今後も地域経済の活性化や郷土の発展にお役に立つことを重要な社会的使命と考え、貸出運用に努めて参ります。



有価証券残高

有価証券は、資金の運用効率を高めるため債券を積極的に購入したことから前期末比169億円増加し、1,018億円となりました。

今後も、収益性と安全性に留意した運用に努めて参ります。

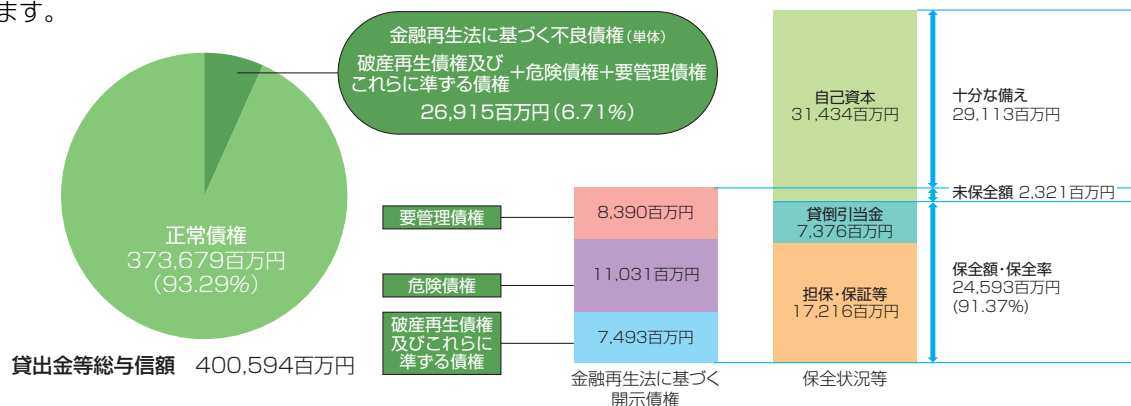


不良債権

金融再生法に基づく平成17年3月期の貸出金等の総与信額は4,005億94百万円となり、そのうち回収に懸念のない正常債権は3,736億79百万円で93.29%を占めております。

一方、不良債権は269億15百万円（総与信額の6.71%）となり、平成16年3月期の299億64百万円（総与信額の7.50%）と比べ、30億49百万円減少しました。また、この不良債権の91.37%（245億93百万円）は、担保・保証等や引当金で保全されています。残りの23億21百万円につきましても、お取引先の経営状態から直ちに引当を要するものではありませんが、仮に貸倒が発生したとしても、当行の自己資本は314億34百万円あり備えは十分で、当行の資産内容の健全性をご理解いただけるものと存じます。

今後皆様方の資金需要にお応えしながらも、審査、信用リスク管理を徹底しながら、資産の健全性確保に努めて参ります。



●金融再生法開示債権の保全状況 (単体)

単位：百万円

平成17年3月31日	破産再生債権等	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	7,493	11,031	8,390	26,915
担保・保証等による保全額 (B)	3,468	8,566	5,181	17,216
対象債権に対する貸倒引当金 (C)	4,024	2,285	1,067	7,376
保全額 (D) = (B) + (C)	7,493	10,851	6,248	24,593
開示額に対する保全率 $\frac{(D)}{(A)}$	100.00%	98.37%	74.47%	91.37%
担保・保証等による保全がない額 (E) = (A) - (B)	4,024	2,464	3,209	9,698
引当率 $\frac{(C)}{(E)}$	100.00%	92.70%	33.25%	76.06%

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

●不良債権の用語解説

- 破産再生債権及びこれらに準ずる債権とは** 破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
- 危険債権とは** 債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。
- 要管理債権とは** 3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
- 正常債権とは** 債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権。

三行システム共同化 (平成17年5月)

当行、佐賀銀行及び十八銀行の三行は、基幹系システムの共同化において合意し、日本ユニシス株式会社のオープン系システム「BankVision」の採用を内定しました。

本システムは、新技術を駆使したオープン系システムで、経済性や柔軟性の面で利点があり、事務の堅硬化、効率化はもとより、新規業務への対応や新商品、新サービスの迅速な開発・提供が可能になると考えています。

なお、当行の稼働時期は、平成22年1月以降を予定しておりますが、システム障害対策等に万全を期し、三行にてシステムの安全稼働を十分検証できた段階で最終決定いたします。

「北部九州ビジネスマッチング協議会」の設立 (平成17年3月)

当行は、佐賀銀行、十八銀行と共同で、企業の「売りたい」「買いたい」を支援する「北部九州ビジネスマッチング協議会」を平成17年3月30日に設立いたしました。

※サービス内容

- ①製品や生産資材の受発注ニーズに基づいたビジネスマッチングサポート
- ②「経営・技術相談」、「ベンチャー支援・創業支援」等の企業支援
- ③「セミナー・商談会」等の開催

※サービス開始 平成17年4月25日

※会費 無料

※特長

- ①三行のスタッフが中心となり関連分野の専門スタッフと連携しながら、製品や生産資材の受発

注ニーズに基づいたビジネスマッチングのためのサポートを行います。

②インターネットを利用し、タイムリーなビジネスマッチングを行います。

③各団体と連携を図りながら、「経営・技術相談」、「ベンチャー支援・創業支援」、「セミナー・商談会」等の企業支援事業を行います。

株式会社日本M&Aセンターとの業務協定締結 (平成17年3月)

当行と株式会社日本M&Aセンターは企業買収・売却、営業譲渡・譲受、合併、資本提携及び業務提携その他の方法による企業提携に関して、ニーズのある企業の情報を相互に交換し、M&A等の案件の成約に向け相互に協力することについて合意をし、協定を締結しました。

年金・投信セミナーの開催 (平成17年3月)

「セカンドライフのための基礎知識」として、年金の仕組みや手続き、上手な資産づくりの方法をキーワードに「ちくぎん年金・投信セミナー」を開催しました。



ETCバンクカードの取扱開始 (平成17年4月)

有料道路の料金所付近での渋滞緩和を目的として開発された「有料道路自動料金収受システム (ETC)」専用レーンで、有料道路の料金所ゲートをノンストップで通行でき、かつ自動的に通行料金を支払うことができるETCバンクカードの取扱いを開始しました。

福岡県西方沖地震による被災のお客様への

「緊急特別融資」について (平成17年3月)

福岡県西方沖地震で被災されたお客様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

当行では、今回の地震により「相談窓口」を開設するとともに、被害を受けられた皆様に対して「災害特別融資」の取扱いを実施しました。

古紙リサイクル活動で表彰を受ける (平成17年2月)

環境保全活動の一環として、平成16年3月に久留米市の古紙リサイクル奨励制度に登録し、ゴミ減量の一環として古紙のリサイクルを推進してきましたが、平成17年2月、久留米市より古紙リサイクル活動推進団体として表彰を受けました。



預金の不正引出防止対策

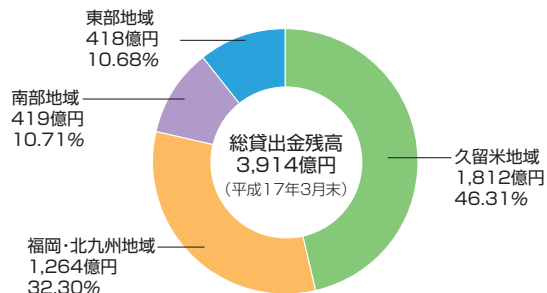
近年、盗難カードや偽造カードによるCD・ATM機での不正引出が多発しておりますが、当行ではお客様のご預金の不正引出防止対策として様々な防止策を講じています。ご不便な点もあろうかと存じますが、お客様の大切なご預金等をお守りするためですので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

対策項目	対策実施時期	内容
のぞき見防止フィルム	導入中	CD・ATM機の操作画面にのぞき見防止フィルムを貼り、お客様のうしろや横から暗証番号等をのぞき込まれないように安全性を高めて参ります。
後方チェックミラー	導入済	CD・ATM機の操作中にお客様の後方がチェックできるようにミラーを取り付けております。
1日当たりの支払限度額	導入済	1日当たりの支払限度額を1口座につき200万円までといたしております。また現在、窓口のみでお取扱しておりますCD・ATM機での1日当たりの支払限度額の変更手続を、限度額の引き下げに限ってお客様が直接ATM機で変更することができるように予定しております。
ATMでの暗証番号変更	導入予定	現在は、窓口のみで受付しておりますが、お客様がいつでも自由にATM機で変更することができるようにいたします。

地域別貸出金残高

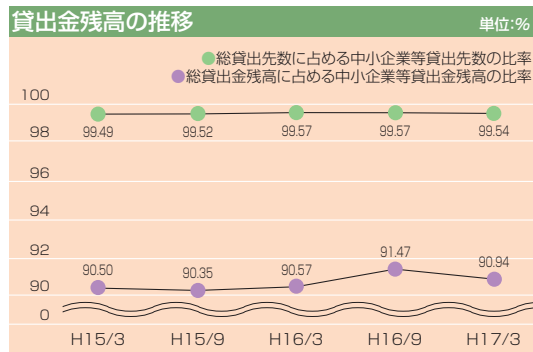
当行が地域のお客様からお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方々への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行創立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。貸出金は事業性貸出金の低迷が続いておりますが、前期末比13億円増加しました。

※平成17年2月新久留米市が誕生したことにより当期から田主丸支店（東部地域）は久留米地域に含めております。



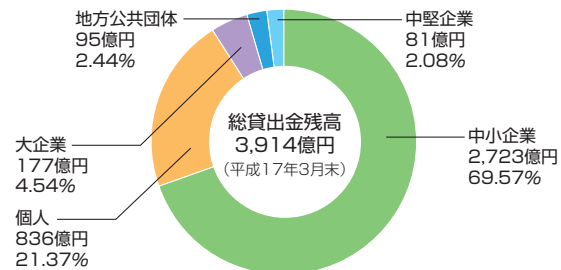
中小企業等貸出金比率、先数比率

中小企業及び個人の方々に対する貸出金の割合は、90.94%（中小企業69.57%、個人21.37%）、先数比率でも99.54%と高い割合を維持しています。



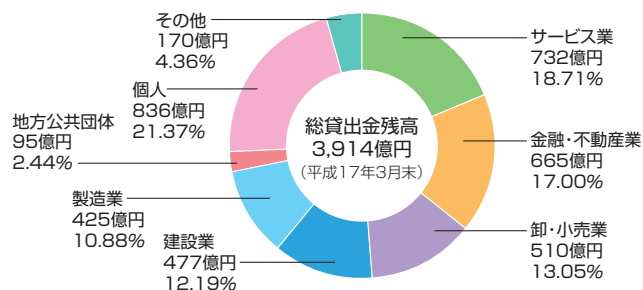
マーケット別貸出金残高、貸出金比率

当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心とした貸出を行っており、今後もこの方針を変更することなく、お客様のニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供して参ります。



業種別貸出金、貸出金比率

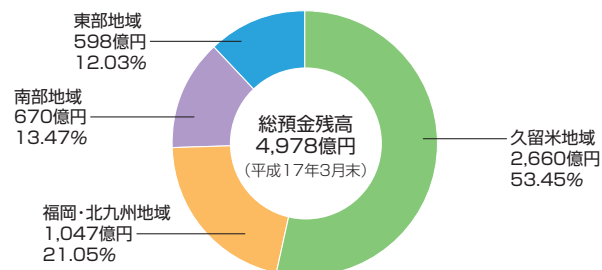
当行は、リスク管理の面等から地方公共団体や個人以外では一定の業種に偏ることなく各業種に概ね均等に貸出を行っております。



地域別預金残高、預金比率

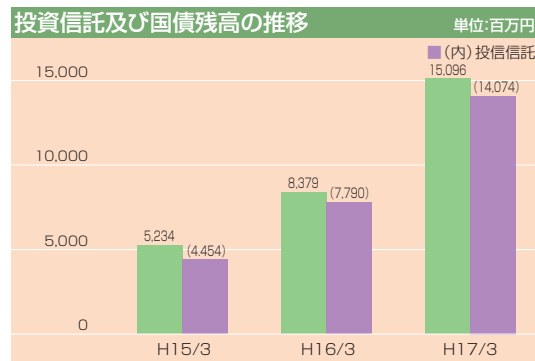
当行は、地域に根ざした金融機関として、創立以来地域の皆様からのご信頼をいただき、預金は個人預金を中心に順調に推移しております。今後もお客様のニーズにあった魅力ある金融商品の提供に努めて参ります。

※平成17年2月新久留米市が誕生したことにより当期から田主丸支店（東部地域）は久留米地域に含めております。



個人預り資産の推移

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債を取扱っております。低金利状況が長期化する中で資産運用が多様化していることにより、個人預り資産は投資信託を中心に前年度末比67億円増加し、150億96百万円となりました。



地域経済の活性化

地域経済の活性化に向けて、お取引先の経営改善や創業企業のサポートに取り組んでいます。

経営サポート室

サポート対象お取引先企業について

- ①経営改善のためのアドバイス
- ②経営改善計画書作成のお手伝い
- ③経営改善計画の実施状況のフォローアップ等の活動を行っています。

中小企業金融の再生に向けた取組み

1. 創業・新事業支援機能等の強化

- ①日本政策投資銀行、中小企業金融公庫等との連携強化や中小企業支援センターの専門家派遣事業を活用したコンサルティングの強化を図っています。
- ②行員の「目利き」や「コンサルティング」能力向上のための内部研修を実施しています。

2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

- ①金融機関では全国初となった（社）中小企業診断協会との業務提携により、中小企業診断士等と連携して地域企業の事業改善及び企業再生支援を推進しております。
- ②平成17年3月には官民共同で北部九州3県をまたぐ地域型ビジネスマッチングである「北部九州ビジネスマッチング協議会」を設立し、地域企業に対する営業情報提供の仕組みづくりを行っています。

3. 早期事業再生に向けた積極的取組み

- ①中小企業再生支援協議会との再生支援に関する事前相談や情報交換を積極的に行っております。
- ②外部専門家集団との業務提携（日本政策投資銀行、あおぞら銀行）や外部機関との情報交換を行い、各

種再生スキームの調査・研究を行っています。

4. 新しい中小企業金融への取組みの強化

- ①担保・保証に過度に依存しない融資商品としてCRD（中小企業信用リスクデータベース）を利用した保証協会との提携商品や福岡県等との提携商品「元気フクオカ」、当行独自商品「筑銀ビジネスローン」等を引き続き積極的に推進いたしております。
- ②事業価値に着目した融資手法の開発等、地域取引先企業の資金調達手段の多様化に取り組んで参ります。

経営理念に基づき地域社会への社会貢献活動に取り組んでいます

当行は、「良き企業市民」としての社会的責任を果たすため、その一環として様々な社会貢献活動を展開しています。

環境保全・美化活動

①古紙リサイクル活動の推進

平成16年3月に久留米市の古紙リサイクル奨励制度に登録し、ゴミ減量の一環として古紙のリサイクルを推進しております。

②全行員一斉「地域貢献清掃活動」の実施

当行の創立50周年を機に、全行員一体となって「地域社会へのご奉仕」を実践するため、平成14年10月より毎月1回、全行員による店舗周辺の道路や公園等のボランティア清掃活動を行っています。



③美化運動への参加

市民の皆様とともに、日本列島クリーン大作戦（都心部道路美化キャンペーン）、筑後川河川敷美化ノーボーイ運動に毎年参加し、美化活動を推進しています。



青少年の健全な育成を願って

「ちくぎん杯少年サッカー大会」の開催

この大会は、サッカーを通して青少年の心と体の健全な育成を願って、平成5年から毎年4月、久留米市安武町の筑後大堰グラウンドにて開催しております。平成17年度の大会には、久留米市内13チームと福岡県内及び近県からの招待19チームの合わせて32チームに参加いただき、小学生540余名が出場されました。



地域行事への積極参加

当行は、毎年「くるめ水の祭典」などの地域イベントに役職員が積極的に参加し、地域社会の一員として皆様との心と心のふれあいを大切にしております。



「小さな親切運動」の推進

昭和58年7月、くるめ「小さな親切」運動の会発足と同時に役職員が会員となり、今日まで小さな親切の実践に取り組んでまいりました。また、平成5年4月から当行本店内に同運動の会久留米支部の事務局を設置し、頭取が同支部の会長を務めさせていただいております。

各種講演会の開催

地域の皆様に対する情報提供の一環として「福岡政行先生チャリティ講演会」・「経済財政白書講演会」・「九州経済白書説明会」等を毎年開催しています。

地域の講演会への講師の派遣

地域の学校やロータリークラブ・公民館等で開催される会議や講演会で、当行役職員が経済や金融等の話題について解説し、皆様のお役に立てればと思っております。

久留米のPRに協力

当行女性行員が「久留米さわやか親善大使」として、ラジオ・テレビ等の番組出演をはじめ、県内・県外の各都市を訪問してイベント等に参加し久留米市のPRに一役かっています。



※ 次の場合でのご利用は、各行所定の手数料のご負担が必要となります。
①銀行休業日、②延長時間帯、③4行が幹事店でないATM

ATMネットワーク

4行で1,386箇所2,709台のCD・ATMがご利用いただけます。(平成17年3月31日現在)

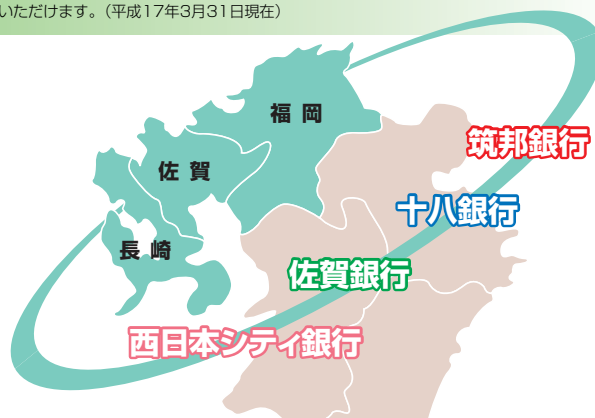
福岡・長崎・佐賀、隣接3県をネットワーク。
よりワイドに、より便利に！

筑邦銀行、十八銀行、佐賀銀行、西日本シティ銀行のキャッシュカードをご利用のお客様は、4行のATM・CDからのお引出しが手数料無料でご利用いただけます。

無料でご利用いただける時間

平日8:45~18:00

※上記時間以外のご利用には、別途時間外手数料が必要となります。



金融犯罪が多発しています！

通帳・印鑑・キャッシュカードの盗難にご注意！

- 通帳・印鑑・キャッシュカードは別々に、厳重に保管されるようお願いいたします。
また、運転免許証や保険証などで本人であることを示す公的書類も通帳などとは別に保管されることをお勧めします。
- 万一、通帳・印鑑・キャッシュカードのいずれか一つでも紛失された場合は、すぐにお取扱店へご連絡ください。夜間及び休日についてはちくぎん集中監視センター（TEL0942-35-0037）にご連絡ください。
- 通帳の付け込みはできるだけ頻繁にさせていただいて、不審な取引がないか確認してください。

キャッシュカードの暗証番号は大丈夫ですか？

- 「生年月日」「電話番号」「自家用車のナンバー」など、他人に推測されやすい番号をキャッシュカードの暗証番号に使用するのは大変危険です。このような番号をご使用になっている場合は、なるべく早く変更されることをお勧めします。
- 暗証番号の変更はお取扱店の窓口にお申し付けください。

突然の振込請求にご注意！

- ご家族や警察官、弁護士などを装って電話をかけ、交通事故の示談金や借金返済のために必要であるなどと偽って振込を要求する、いわゆる「振り込め詐欺」の被害が多く発生しています。少額であっても突然の振込請求には、電話をかけなおしたり本人に連絡を取るなど、事実かどうかを必ず確認してください。
- ヤミ金融業者などによる法外で強引な返済要求やあたかも公的機関のような名称を名のったり、身に覚えのない請求があった場合には、安易に振込をする前に、事実かどうかを必ず確認してください。
- 不審に思われた場合は、最寄の警察署や交番、県や市の相談窓口にご連絡ください。

個人情報保護について

平成17年4月からの「個人情報の保護に関する法律」の完全施行にともない、当行では個人情報の保護・管理を厳格に行うべく、行内態勢の整備に万全を尽くしております。

店舗ネットワーク

当行は、福岡県内（主として久留米市、東部地域、南部地域、福岡・北九州地域）のほか、鳥栖市（佐賀県）及び日田市（大分県）とその近隣地域を営業基盤としています。

▶久留米地域の店舗ネットワーク（鳥栖支店含む） 17か店

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1 本店営業部 0942-32-5331
久留米市諏訪野町（国道3号線沿い） | 2 中央町支店 0942-33-9116
久留米市城南町（久留米市役所西側） | 3 国道通支店 0942-33-8471
久留米市天神町（岩田屋新館1F） | 4 日吉町支店 0942-32-5261
久留米市日吉町（久留米井筒屋アパート前） |
| 5 くしはら支店 0942-39-3691
久留米市東極原町（久留米警察署近く） | 6 荒木支店 0942-26-3161
久留米市荒木町（JR荒木駅前） | 7 国分支店 0942-21-7131
久留米市国分町（タイホー国分店裏） | 8 高良内支店 0942-43-2333
久留米市青峰（みどりショッピングセンター隣） |
| 9 長門石支店 0942-38-5731
久留米市長門石（タイホー長門石店前） | 10 津福支店 0942-34-6511
久留米市津福本町（西鉄津福駅前） | 11 上津支店 0942-21-4681
久留米市上津町（久留米市成田山前） | 12 南町支店 0942-21-4311
久留米市南町（南町郵便局北） |
| 13 十三部支店 0942-43-3911
久留米市合川町（タイホー十三部店前） | 14 東合川支店 0942-44-5500
久留米市東合川（協久留米纖維流通センター組合会館1F） | 15 大善寺支店 0942-26-8971
久留米市大善寺町（西鉄大善寺駅近く） | 16 田主丸支店 0943-72-2171
久留米市田主丸町（国道210号線沿い） |
| 17 鳥栖支店 （佐賀県） 0942-83-2801
鳥栖市元町（鳥栖工業高校前） | | | |

▶東部地域の店舗ネットワーク（日田支店含む） 5か店

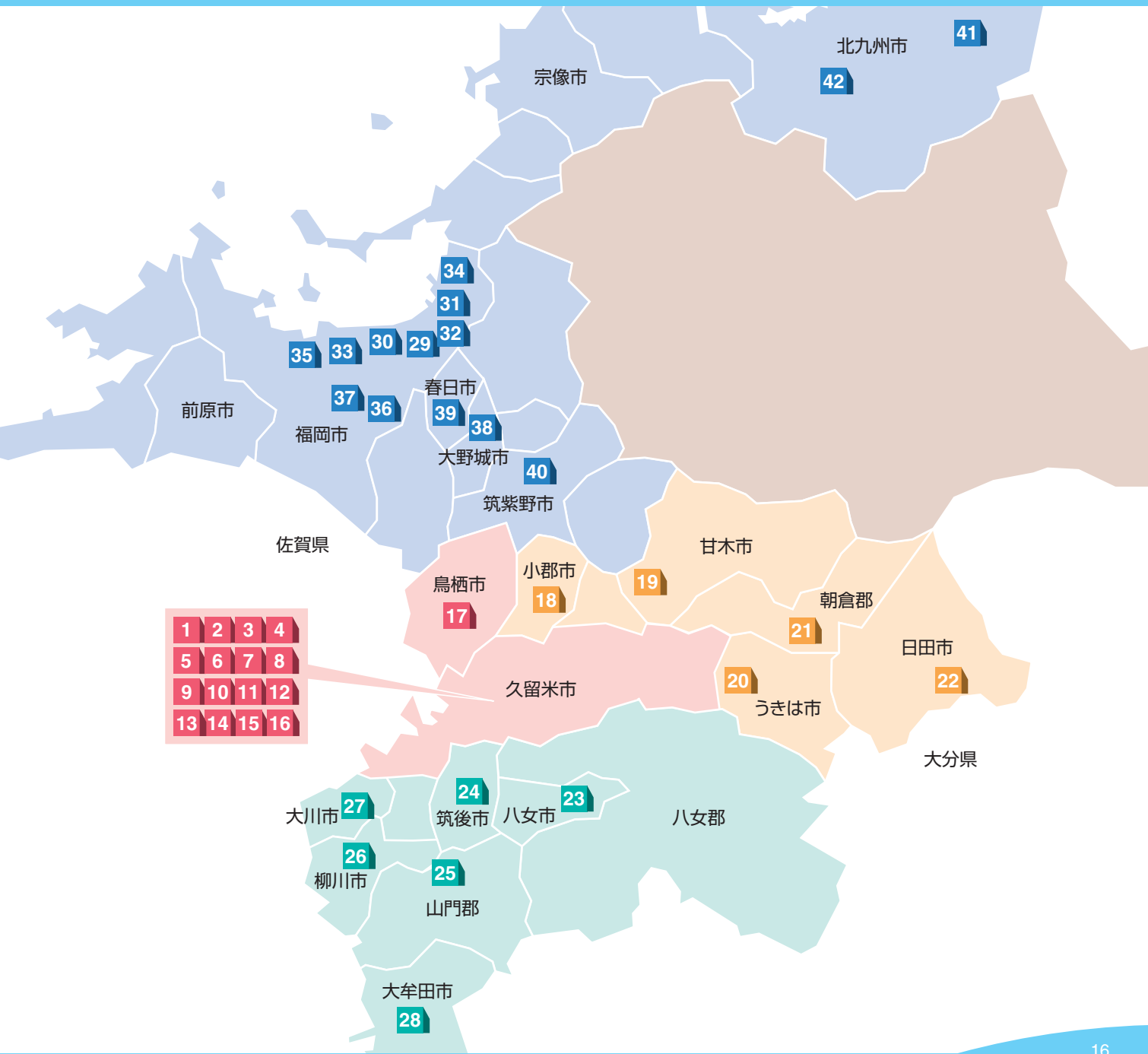
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 18 小郡支店 0942-73-3211
小郡市小郡（小郡郵便局前交差点角） | 19 甘木支店 0946-22-3920
甘木市大字甘木（甘木郵便局前） | 20 吉井支店 0943-75-2101
うきは市吉井町（高橋神社横） | 21 杷木支店 0946-62-1125
朝倉郡杷木町（杷木郵便局近く） |
| 22 日田支店 （大分県） 0973-24-3171
日田市本庄町（国道386号線沿い） | | | |

▶南部地域の店舗ネットワーク 6か店

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 23 八女支店 0943-23-3141
八女市大字本村（福島土橋四ツ角より050m） | 24 筑後支店 0942-53-2188
筑後市大字山の井（岩田屋筑後サロン前） | 25 瀬高支店 0944-62-2143
山門郡瀬高町大字下庄（栄町通） | 26 柳川支店 0944-72-2131
柳川市隅町（国道橋横） |
| 27 大川支店 0944-87-2134
大川市大字榎津（中原交差点南50M） | 28 大牟田支店 0944-52-5271
大牟田市築町（築町バス停前） | | |

▶福岡・北九州地域の店舗ネットワーク 14か店

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 29 福岡支店 092-521-1451
福岡市中央区高砂（西鉄薬院駅より東200m） | 30 赤坂門支店 092-761-6404
福岡市中央区舞鶴（法務局前バス停近く） | 31 博多支店 092-411-7231
福岡市博多区東比恵（比恵新町1丁目バス停前） | 32 雑餉隈支店 092-581-2831
福岡市博多区銀天町（銀天町商店街入口） |
| 33 西新町支店 092-821-3331
福岡市早良区城西（城西3丁目バス停前） | 34 名島支店 092-661-2811
福岡市東区名島（九州電力東営業所前） | 35 姪浜支店 092-891-7561
福岡市西区姪浜駅南（福岡市営地下鉄姪浜駅南） | 36 警弥郷支店 092-572-3911
福岡市南区警弥郷（マルキョウ警弥郷店近く） |
| 37 中尾支店 092-561-2231
福岡市南区中尾（マルキョウ中尾店の隣） | 38 大野支店 092-591-3111
大野城市白木原（白木原交差点角） | 39 春日支店 092-501-1531
春日市ちくし台（サニーちくし台店近く） | 40 二日市支店 092-922-6661
筑紫野市二日市北（ダイエー二日市店前） |
| 41 北九州支店 093-531-3631
北九州市小倉北区米町（新小倉ビル1F） | 42 黒崎支店 093-621-0631
北九州市八幡西区岡田町（厚生年金病院横） | | |



店舗外現金自動設備設置場所

設置場所	平日稼働時間	土曜日	日曜日	祝日
西鉄久留米駅出張所	8:00~21:00	●	●	●
西鉄久留米駅前出張所	8:00~21:00	●	●	●
一番街出張所	9:00~20:00	●	●	●
久留米六角堂広場出張所	9:00~21:00	●	●	●
久留米大学病院1階出張所	9:00~18:00			
久留米大学医療センター出張所	9:00~18:00	●		
久留米大学商学部出張所	9:00~18:00			
ハンドメーク上津店出張所	9:00~21:00	●	●	●
スーパー大栄上津店出張所	9:00~21:00	●	●	●
久留米工業大学出張所	10:00~17:00			
聖マリア病院出張所	9:00~17:00	●		
タイホー西町店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー津福店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー櫛原店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー十三部店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー国分店出張所	9:00~21:00	●	●	●
ゆめタウン久留米出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー山川店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー野伏間店出張所	9:00~21:00	●	●	●
西鉄ストア宮ノ陣店出張所	9:00~21:00	●	●	●
JR久留米駅出張所	9:00~19:00	●	●	●
タイホー大石町店出張所	9:00~21:00	●	●	●
久留米駐屯地出張所	9:00~18:00			
久留米市役所出張所(2か所)	9:00~18:00			
サザンモール出張所	9:00~21:00	●	●	●
小郡市役所出張所	9:00~18:00	●		
D&D大刀洗店出張所	9:00~20:00	●	●	●

設置場所	平日稼働時間	土曜日	日曜日	祝日
タイホー北野店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー甘木店出張所	9:00~21:00	●	●	●
甘木市役所前出張所	9:00~18:00			
ジャスコ甘木店出張所	9:00~21:00	●	●	●
ゆめタウン八女出張所	9:00~21:00	●	●	●
九州大谷短大出張所	9:00~17:00			
柳川市役所出張所	9:00~18:00			
大牟田市役所出張所	9:00~18:00			
ソラリアプラザB1出張所	10:00~20:00	●	●	●
明治屋太宰府店出張所	9:00~20:00	●	●	●
筑紫野市役所出張所	9:00~17:00			
ゆめタウン筑紫野出張所	9:00~19:00	●	●	●
ミスターマックス北茂安店出張所	9:00~20:00	●	●	●

※施設内の現金自動設備のご利用については、
各施設の営業時間中となります。

(41ヶ所)
(平成17年6月6日現在)

入金できる設備 入金時間 9:00~18:00

土曜日・日曜日・祝日のATM・CDコーナー稼働時間

- 9:00~19:00
- 9:00~17:00
- 9:00~14:00
- 10:00~17:00

土曜日・日曜日・祝日のCD・ATM利用手数料

筑邦銀行のCD・ATMをご利用された場合

	筑邦銀行通帳・カードでの「お引き出し」	他行カードでの「お引き出し」
9:00~17:00	105円	210円
17:00~19:00		ご利用いただけません

※店舗により、ご利用時間帯及びサービス内容が異なります。
※十八銀行、佐賀銀行、西日本シティ銀行のカードによる「お引き出し」は、当行カードによる「お引き出し」と同様の手数料となります。
※お振込予約の場合は、別途振込手数料が必要となります。

久留米地区現金自動設備設置場所

●の設置場所は平日午後9時までご利用できます。



第81期末 連結貸借対照表 （単位：百万円）

（平成17年3月31日現在）

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	40,291	預金	496,332
買入金銭債権	81	譲渡性預金	3,080
商品有価証券	402	借入金	8,318
有価証券	101,924	その他負債	4,052
貸出金	389,660	退職給付引当金	1,790
外国為替	281	再評価に係る繰延税金負債	1,871
その他資産	5,485	支払承諾	8,944
動産不動産	18,048	負債の部合計	524,390
繰延税金資産	2,040	(少数株主持分)	
支払承諾見返	8,944	少数株主持分	1,755
貸倒引当金	△9,375	(資本の部)	
		資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		利益剰余金	12,515
		土地再評価差額金	2,286
		その他有価証券評価差額金	3,159
		自己株式	△82
		資本の部合計	31,639
資産の部合計	557,785	負債、少数株主持分及び資本の部合計	557,785

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第81期 連結損益計算書 (単位：百万円)

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

科目	金額
経常収益	17,396
資金運用収益	10,380
(うち貸出金利息)	(9,243)
(うち有価証券利息配当金)	(1,129)
役務取引等収益	1,926
その他業務収益	4,752
その他経常収益	336
経常費用	15,880
資金調達費用	347
(うち預金利息)	(195)
役務取引等費用	679
その他業務費用	4,742
営業経費	7,751
その他経常費用	2,358
経常利益	1,516
特別利益	4
特別損失	53
税金等調整前当期純利益	1,467
法人税、住民税及び事業税	1,334
法人税等調整額	△722
少数株主損失	2
当期純利益	858

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第81期 連結剰余金計算書 (単位：百万円)

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

科目	金額
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	5,759
資本剰余金期末残高	5,759
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	11,950
利益剰余金増加高	874
当期純利益	858
土地再評価差額金取崩額	16
利益剰余金減少高	309
配当金	309
自己株式処分差損	0
利益剰余金期末残高	12,515

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第81期 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△324
現金及び現金同等物に係る換算差額	3
現金及び現金同等物の増加額	939
現金及び現金同等物の期首残高	38,204
現金及び現金同等物の期末残高	39,143

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第81期末 貸借対照表 (単位:百万円)

(平成17年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	39,921	預金	497,815
買入金銭債権	81	譲渡性預金	3,080
商品有価証券	402	その他負債	2,082
有価証券	101,882	退職給付引当金	1,775
貸出金	391,405	再評価に係る繰延税金負債	1,871
外国為替	281	支払承諾	8,944
その他資産	1,306	負債の部合計	515,569
動産不動産	9,727	(資本の部)	
繰延税金資産	1,763	資本金	8,000
支払承諾見返	8,944	資本剰余金	5,759
貸倒引当金	△8,711	資本準備金	5,759
		利益剰余金	12,300
		利益準備金	2,724
		任意積立金	8,300
		当期末処分利益	1,276
		土地再評価差額金	2,286
		其他有価証券評価差額金	3,159
		自己株式	△71
		資本の部合計	31,434
資産の部合計	547,004	負債及び資本の部合計	547,004

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第81期 損益計算書 (単位:百万円)

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

科目	金額
経常収益	12,664
経常費用	11,146
経常利益	1,517
特別利益	4
特別損失	53
税引前当期純利益	1,469
法人税、住民税及び事業税	1,290
法人税等調整額	△678
当期純利益	857
前期繰越利益	558
土地再評価差額金取崩額	16
中間配当額	155
当期末処分利益	1,276

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第81期 利益処分 (単位:百万円)

科目	金額
当期末処分利益	1,276
利益処分額	655
配当金(1株につき2円50銭)	155
任意積立金	500
別途積立金	500
次期繰越利益	620

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員氏名 (平成17年3月31日現在)

取締役会長	前川博
取締役頭取(代表取締役)	井手和英
専務取締役(代表取締役)	山下洋
常務取締役	吉田茂
常務取締役	山本善樹
取締役	空閑重信
取締役	日隈篤裕
常勤監査役	豊島安治
監査役	佐藤信義
監査役	上野寛

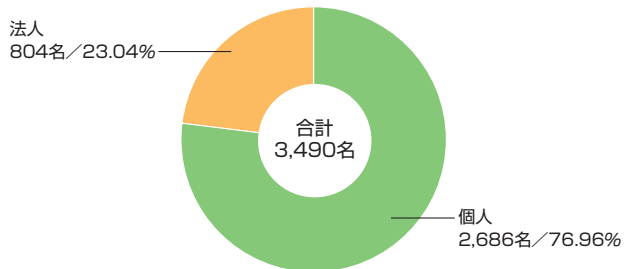
(注) 監査役上野寛は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成17年3月31日現在)

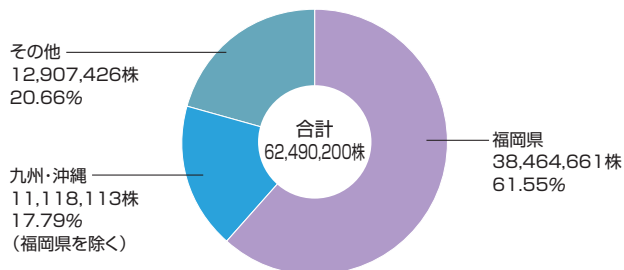
●株式の所有数別分布表

区分	株主数(名)	株主数比率(%)	株数(株)	株数比率(%)
1,000,000株以上	10	0.29	15,679,009	25.09
500,000株以上	8	0.23	5,477,331	8.77
100,000株以上	74	2.12	15,943,373	25.51
50,000株以上	73	2.09	4,763,245	7.62
10,000株以上	796	22.81	14,385,944	23.02
5,000株以上	517	14.81	3,207,043	5.13
1,000株以上	1,266	36.27	2,731,391	4.37
1,000株未満	746	21.38	302,864	0.49
合計	3,490	100.00	62,490,200	100.00

●株式の所有者別分布状況



●株式の地域別分布状況



株 式 の ご 案 内

1. 決 算 日 毎年3月31日
2. 利益配当金受領株主
確 定 日 毎年3月31日
3. 中間配当金受領株主
確 定 日 毎年9月30日
4. 定時株主総会 毎決算日後3か月以内に開催
5. 名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社
6. 同 事 務 取 扱 所 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
・各種お問い合わせ
0120-232-711（通話料無料）
・各種手続用紙のご請求
0120-244-479（通話料無料）
・ホームページアドレス
<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>
7. 同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
8. 上場証券取引所 福岡証券取引所
9. 公 告 掲 載 紙 福岡市において発行する西日本新聞に掲載



<http://www.chikugin.co.jp/>

あなたのまちの
筑邦銀行

筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)